_	—	-	п
_	= 1	┿	
_	—	11	ハバ

施設名:			

未就学児用 食物アレルギー・アナフィラキシー 生活管理指導表

								提出日	年	月	日
児氏名()【男・	女】	年 月	日生(歳	ヶ月)	組名()		
★施設における日常の取り組	み及び緊急時の対応に活用するため、本	本表に記載された内容	字を施設の職員	員及び消防機関	J·医療機関	等と共有で	することに、同意します	<u></u> す。			
保護者氏名((1)										
緊急連絡先 *連絡医療標	機関は、主治医と相談のうえで記載し	てください。(「救急:	車要請」と記	載することも可	J。)						
★ 第1連絡者 氏名	電話	続柄()	第2連絡者	氏名		電話		続柄()		
★ 医療機関名 名称				電話							

※ 以下は主治医(医療機関)におかれまして、現在の状況及び今後1年間を通じて予測される状況等の記載をお願いします。

主治医氏名(⑩) 医療機関の名称() 記載日 年 月 日
	病型·治療	施設での生活上の留意点
A.食物アレルギー病型 1.食物アレルギーの関与する乳児アトと 2.即時型	·一性皮膚炎	A.給食・離乳食 (おやつを含む) 1.管理不要 2.管理必要(管理内容については病型・治療のC.欄及び下記C.E欄を参照)
その他:	ギー・ロ腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー) 一の既往ありの場合のみ記載してください。)	
ロングライブイン・一般主(グランイブイン	りが、正成分の2g 日ののた記載していたです。)	ミルフィー・ニューMA-1・MA-mi・ペプディエット・エレメンタルフォーミュラ その他()
1.食物 (原因: 2.その他 (医薬品·食物依存性運動) 誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・)	C.除去食品で摂取不可能なもの 「病型・治療」のCで除去の際に摂取不可能なものに○
記載してください。また8~15につい ①明らかな症状の既往 1.鶏卵 () 2.牛乳・乳製 5.ピーナッツ() 6.大豆	たの根拠を下記より選択し①~④の該当する全ての番号を()にいては、()内にも記載をしてください。 ②食物負荷試験陽性 ③lgE抗体等検査結果陽性 ④未摂取品 () 3.小麦 () 4.ソバ () () 7.ゴマ () (すべて・クルミ・カシューナッツ・アーモンド・	1. 卵殻カルシウム (鶏卵) 2. 乳糖 (牛乳・乳製品) 3. 醤油・酢・麦茶 (小麦) 6. 大豆油・醤油・味噌 (大豆) 7. ゴマ油 (ゴマ) 12. かつおだし・いりこだし (魚類) 13. エキス (肉類)
10.軟体類·貝類 () 11.魚卵 () 12.魚類 () 13.肉類 ()	《 すべて・エビ・カニ・ 《 すべて・イカ・タコ・ホタテ・アサリ・ 《 すべて・イクラ・タラコ・ 《 すべて・サバ・サケ・ 《 鶏肉・牛肉・豚肉・ 《 キウイ・バナナ・	D.食物・食材を扱う活動 1.管理不要 2.原因食材を教材とする活動の制限() 3.調理活動時の制限() 4.その他() E.その他の配慮・管理事項
D. 緊急時に備えた処方薬1.内服薬(抗ヒスタミン薬・ステロイド薬)3.その他()	

参考

※厚生労働省発行「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」P.37抜粋

◆ ※ か が か か が か か か か か か か か か か へ か か か く へ へ か か か か	- HW2 110	ナ 戦 信	くンを使用しても問題な
◆ 位 で で で で で で で で で で で で で	のチェックは緊急性が高い、 (在の鑑かの行う (<u></u>
呼吸器 〇位状	□ のどや胸が締め付けられる □ 声がかすれる □ 声がかすれる □ 大が吠えるような咳 □ 原がしにくい □ 局がしにくい □ 持続する強い咳き込み □ 技術する強い咳き込み	数回の軽い核	
消化器の症状	□ 持続する強い(がまんできない) お腹の痛み □ 繰り返し吐き続ける	□ 中等度のお願の痛み □ 1~2回の曜吐 □ 1~2回の下痢	□ 軽い(がまんできる)お版の編み □ 吐き気
回・ロ・ を を を を を を を を を を を を を を を を を を	上記の症状が	□ 脚全体の腫れ □ まぶたの腫れ	□ 国のむちゃ、松目 □ □ の中の油色原、筋の離れ □ へしゃみ、解火、解じまり
皮膚の症状	1501	□強いかゆみ □全身に広がるじんまを □全身が真っ赤 □つても当てはまる場合	□軽度のかゆみ □数個のじんま修 □部分的な赤み 1つでも当てはまる場合
	①ただちにエピペン"を使用 ②救急車を要請 (119番) ③その場で安静を保つ ④その場で救急隊を待つ ⑤可能なら内服薬を飲ませる ((1) 内服薬を飲ませ、エピペン。 を準備 (1) (2) (2) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(

独立行政法人環境再生保全機構「ぜん息予防のためのよくわかる食物アレルギー対応ガイドブック 2014」(2016年10月)を一部改変